

「できもの」を手術でも対応 病院施設を利用できる利点も

医療法人達磨会 井上病院 皮膚科医師

く やま よう こ

久山陽子さん

福山市東深津町 3-23-46
電 084・943・5000



呼吸器・消化器疾患専門の井上病院（井上文之理事長）に今年4月に皮膚科が新設され、井上理事長の姪にあたる皮膚科医師の久山陽子さんが着任し、半年が経過。徐々に認知され、柔らかな表情で診察・治療する久山さんに対する患者の評判も上々だ。

呼吸器・消化器疾患専門の病院になぜ皮膚科を？久山さんは次のように説明する。

「理事長が特別養護老人ホーム『手城福助苑』を運営している『社福』三葉会の理事長を兼務している関係から、高齢者を中心に皮膚疾患を訴える患者が増加している背景があります」もう一つ、皮膚科治療は内服薬や軟膏で対処するケースが多いですが、私の場合、脂肪腫（しぼうしゅ）、粉瘤（ふんりゅう）など、比較的小さな『できもの』の手術が必要な時、井上病院の施設が利用できる利点があります。お気軽にお問い合わせいただければ」。

久山さんは広島大学附属福山高等学校から日本医科大学に進み、1996年に同大学を卒業後、岡山大学病院、興生総合病院、岡山赤十字病院、赤穂中央病院、三原赤十字病院、西福山病院、因島総合病院、小島病院、中国中央病院などに勤務経験がある。学生時代は水泳や陸上選手として活躍した。夫は岩国医療センター・呼吸器内科医の久山彰一さん。



写真展「冬への恋文」を開催 11 / 20—12 / 26「LUCAS」で

写真家

こ やま

古山コスミさん

福山在住

電 090・7596・1258

Eメール= kosumiko@yahoo.co.jp



国内外で活躍する福山在住の写真家・古山コスミさんは、11月20日（月）12月26日（火）にフランス料理「LUCAS」リユカ（福山市明治町1-1、電084・999・5299）で写真展「冬への恋文」IIチラシIIを開く。雪で覆われた鳥取砂丘II同写真上IIなど展示される作品は約15点で、「インスタレーション（空間芸術）」という手法でも表現するという。

古山さんは「写真と立体造形物、音を組み合わせるなど、多様な方法を用いてご覧いただき、皆様の五感に訴えたいと思います」と、意気込む。

1年の内、1カ月間は海外に滞在して撮影を行い、個展も国内外で開催。2013年日仏現代国際美術選抜展で新作家賞、14年に同展で品川区長賞を受賞している。

また、写真展期間中の11月23日（木・祝）と12月16日（土）には声楽家・平本弘子さん（Studio歌鈴主宰）の日本歌曲やシャンソンによる「歌のプティ・コンサート」が開かれる。ピアノは大澤宣晃さん。それぞれ午後2時—3時30分のティータム（料金3500円）、6時—8時30分のディナータイム（同5千円）には、「作品を観て、歌を聴いて、料理を味わう宴」をテーマにコラボが楽しみに、作家と演奏家たちとの語りも予定されている。各回30席限定。

インタビュー